



最近の県内経済情勢

令和 6 年 4 月 22 日

財務省関東財務局

長野財務事務所

※掲載した経済指標等については速報値を含む。

お問い合わせ先
長野財務事務所財務課
電話番号 026-234-5124

1. 総論

【総括判断】

「県内経済は、持ち直している」

項目	前回（6年1月判断）	今回（6年4月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	→

（注）6年4月判断は、前回6年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、足踏みの状況にある。雇用情勢は、足踏みの状況にある。

【各項目の判断】

項目	前回（6年1月判断）	今回（6年4月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	足踏みの状況にある	↘
雇用情勢	足踏みの状況にある	足踏みの状況にある	→
設備投資	5年度は増加見込みとなっている	5年度は増加見込みとなっている	→
企業収益	5年度は減益見込みとなっている	5年度は減益見込みとなっている	→
企業の景況感	「下降」超幅が縮小している	「下降」超幅が拡大している	→
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	→

【先行き】

先行きについては、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

家電大型専門店販売額、乗用車の新車登録届出台数は前年を下回っているものの、百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、ドラッグストア販売額、ホームセンター販売額は前年を上回っており、個人消費は、緩やかに回復しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 入学式や卒業式向けといったフォーマル関連の衣料品が好調に推移。紳士服についても、各種会合等が増えてきた影響からか、コロナ前の状況までは戻っていないものの、徐々に回復しつつある。(百貨店・スーパー)
- 日用品については節約意識の高まりがみられるものの、バレンタインデーや節分では高価格帯の商品がよく売れるなど、メリハリのある消費行動がみられる。(百貨店・スーパー)
- おにぎり、飲料、冷凍食品など、価格は上がっているものの買い控えはみられておらず、売行きは好調に推移している。(コンビニエンスストア)
- 暖冬によりファンヒーターやこたつ、ホットカーペットといった暖房機器の動きが鈍かった。また、コロナ禍の巣ごもり需要の反動で、依然としてパソコンの売行きは低調であるが、底打ち感はある。(家電大型専門店)
- 化粧品や花粉症対策のマスクが好調。また、商品価格の上昇により、まとめ買いの傾向がみられるため、客数は減少しているものの、客単価は上昇しており売上は増加している。(ドラッグストア)
- ウィンタースポーツを目的とするインバウンドを中心に宿泊客数は増加。また、バーラウンジやレストランの利用も多く、売上の増加に繋がっている。(宿泊)
- 歓送迎会等の宴会需要が旺盛であるほか、コンサート等のイベントスタッフ向けのケータリング需要が増加しており、売上はコロナ前の水準に戻っている。(飲食サービス)

■ 生産活動 「足踏みの状況にある」

鉱工業生産指数を業種別にみると、汎用・生産用・業務用機械、電子部品・デバイス、食料品、電気機械、情報通信機械、輸送機械のいずれも下降しており、生産活動は、足踏みの状況にある。

- 中国の景気低迷による企業の設備投資意欲の低下により、当社製品の受注及び生産が減少している。中国国内の投資減少に加えて、東南アジア諸国の関連企業の投資が軒並み減少している。(生産用機械)
- パソコンのテレワーク需要が一巡したことやスマートフォンの海外需要減退により、半導体部品の受注及び生産が減少している。また、半導体が在庫調整の局面にあることも受注減の要因として考えられる。(電子部品・デバイス)
- 一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響を受け、今年に入ってから受注及び生産が大きく減少している。加えて、中国経済の低迷の影響も大きい。(輸送機械)

■ 雇用情勢 「足踏みの状況にある」

有効求人倍率が低下しており、新規求人数は前年を下回るなど、雇用情勢は、足踏みの状況にある。

- パートから正社員への登用を積極的に行うほか、ベースアップ等の賃上げを実施することにより人材の確保に努めている。(製造業)
- 技術者を中心に人手不足感は大きく、受注高・施工高の維持は人材が確保できるかどうかにかかっている。(建設)
- 新卒の初任給の改善や年間休日数を増やすなどして人材の確保に努めている。(小売業)

■ 設備投資 「5年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」6年1~3月期

法人企業景気予測調査(6年1~3月期調査)で5年度の設備投資計画をみると、製造業は前年比36.0%の増加見込み、非製造業は同37.6%の増加見込み、全産業では同36.3%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「5年度は減益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」6年1~3月期

法人企業景気予測調査(6年1~3月期調査)で5年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業では前年比▲27.5%の減益見込み、非製造業では同▲7.5%の減益見込み、全体では同▲25.9%の減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超幅が拡大している」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」6年1~3月期

法人企業景気予測調査(6年1~3月期調査)の企業の景況判断BSIをみると、全規模・全産業で「下降」超幅が拡大している。

先行きについては、6年7~9月期に「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

新設住宅着工戸数は、貸家が前年を上回っているものの、持家、分譲住宅が前年を下回っており、全体として前年を下回っている。

最近の県内経済情勢

資料編

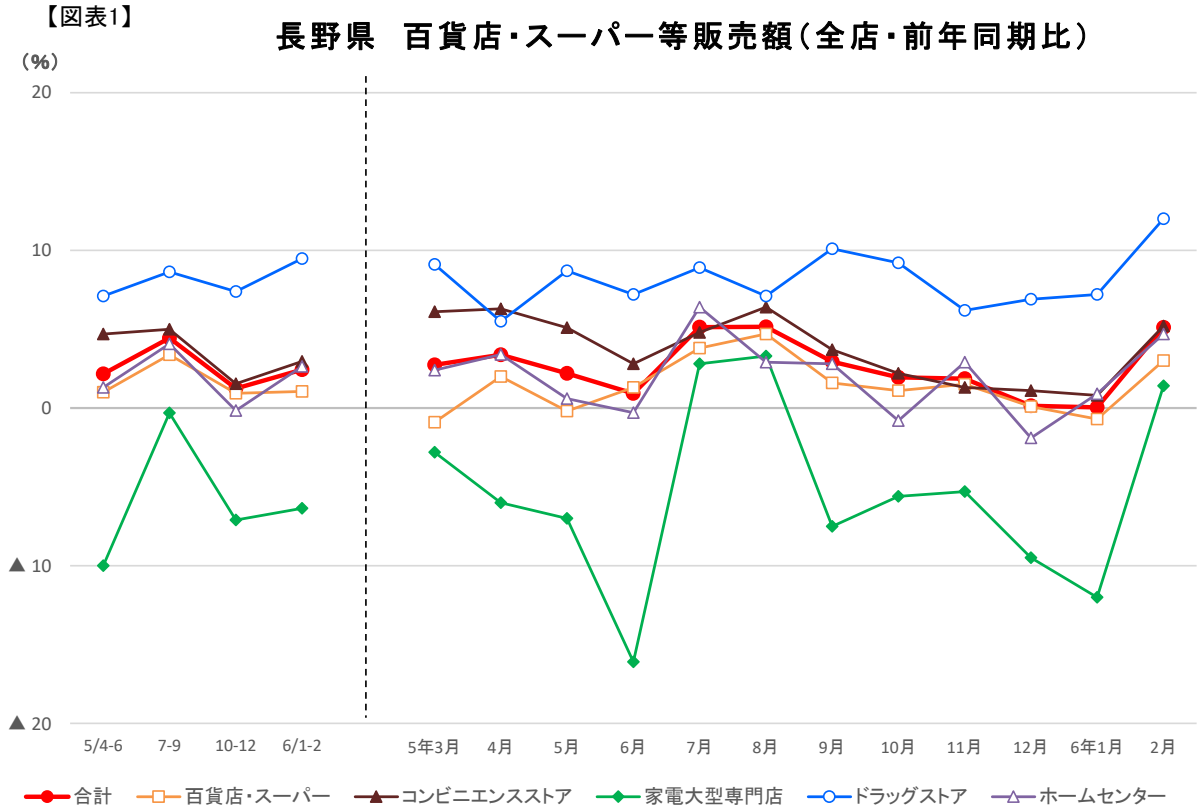
令和 6 年 4 月 22 日

財務省 関東財務局

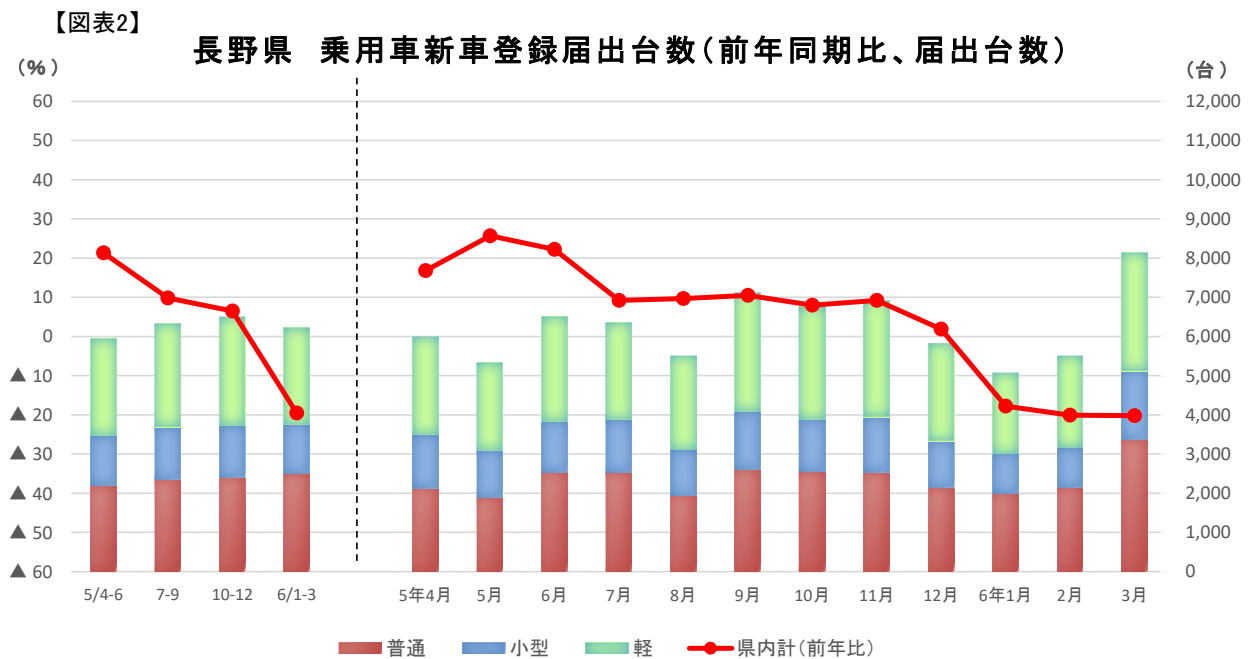
長野財務事務所

1. 個人消費

緩やかに回復しつつある



資料: 経済産業省



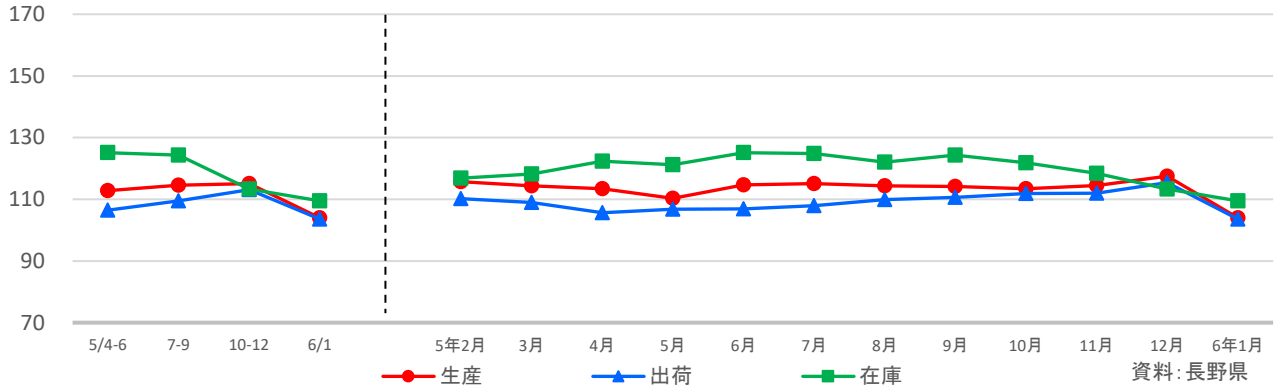
資料: 日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会

2. 生産活動

足踏みの状況にある

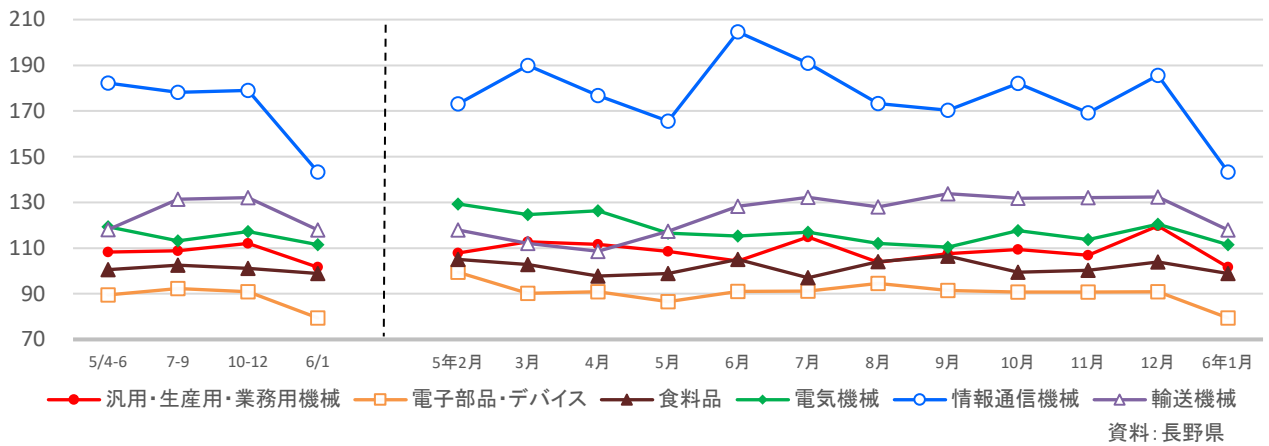
【図表3】

長野県 鉱工業指数(季節調整値・R2=100)



【図表4】

長野県 業種別鉱工業生産指数(季節調整値・R2=100)

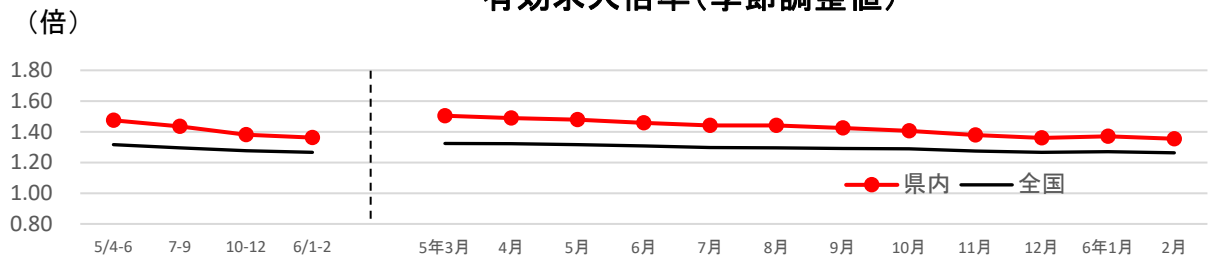


3. 雇用情勢

足踏みの状況にある

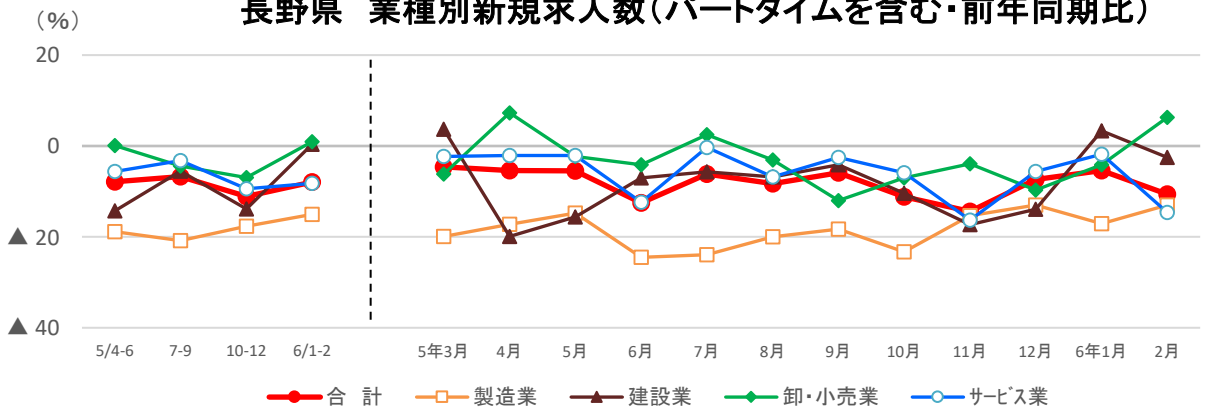
【図表5】

有効求人倍率(季節調整値)



【図表6】

長野県 業種別新規求人数(パートタイムを含む・前年同期比)



4. 企業収益・設備投資

企業収益:5年度は減益見込みとなっている
設備投資:5年度は増加見込みとなっている

【図表7】

企業収益・設備投資

(前年比増減率:%)

		売上高	経常利益		設備投資
			(受取配当金を除く)		
全規模・全産業	5年度	▲ 2.4 (▲ 1.9)	▲ 25.9 (▲ 21.2)	▲ 33.6 (▲ 25.9)	36.3 (40.7)
	6年度	1.4	3.6	13.1	▲ 2.7
大企業	5年度	▲ 1.9 (▲ 1.0)	▲ 27.4 (▲ 21.1)	▲ 35.7 (▲ 26.8)	42.6 (45.1)
	6年度	1.5	4.7	14.5	▲ 2.4
中堅企業	5年度	▲ 4.3 (▲ 5.1)	▲ 8.1 (▲ 15.8)	▲ 17.0 (▲ 15.1)	▲ 16.6 (15.3)
	6年度	1.5	1.2	19.4	5.7
中小企業	5年度	▲ 8.1 (▲ 11.5)	▲ 29.3 (▲ 35.5)	▲ 26.9 (▲ 32.5)	70.3 (9.8)
	6年度	▲ 0.4	▲ 6.5	▲ 6.4	▲ 32.5
製造業	5年度	▲ 4.2 (▲ 4.0)	▲ 27.5 (▲ 23.8)	▲ 36.4 (▲ 29.6)	36.0 (39.1)
	6年度	2.1	5.1	20.7	6.8
非製造業	5年度	4.0 (5.3)	▲ 7.5 (5.8)	▲ 7.3 (4.9)	37.6 (50.1)
	6年度	▲ 0.4	▲ 4.4	▲ 4.2	▲ 27.6

(注)1.()書は前回(5年10~12月期)調査結果

2.売上高、経常利益は「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」を除いたもの

資料:長野財務事務所
「法人企業景気予測調査(令和6年1~3月期調査)」

5. 企業の景況感

「下降」超幅が拡大している

企業の景況判断BSI (前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

【図表8】

(単位:%ポイント)

	5年10~12月	6年1~3月	6年4~6月	6年7~9月
全規模・全産業	(▲ 5.6)	▲ 24.6 (▲ 9.8)	▲ 3.5 (▲ 3.5)	0.7
大企業	(15.4)	▲ 7.3 (5.1)	9.8 (0.0)	7.3
中堅企業	(0.0)	▲ 24.2 (▲ 11.4)	12.1 (0.0)	3.0
中小企業	(▲ 20.3)	▲ 35.3 (▲ 17.4)	▲ 19.1 (▲ 7.2)	▲ 4.4
製造業	(▲ 4.3)	▲ 26.5 (▲ 5.7)	1.5 (4.3)	10.3
非製造業	(▲ 6.8)	▲ 23.0 (▲ 13.7)	▲ 8.1 (▲ 11.0)	▲ 8.1

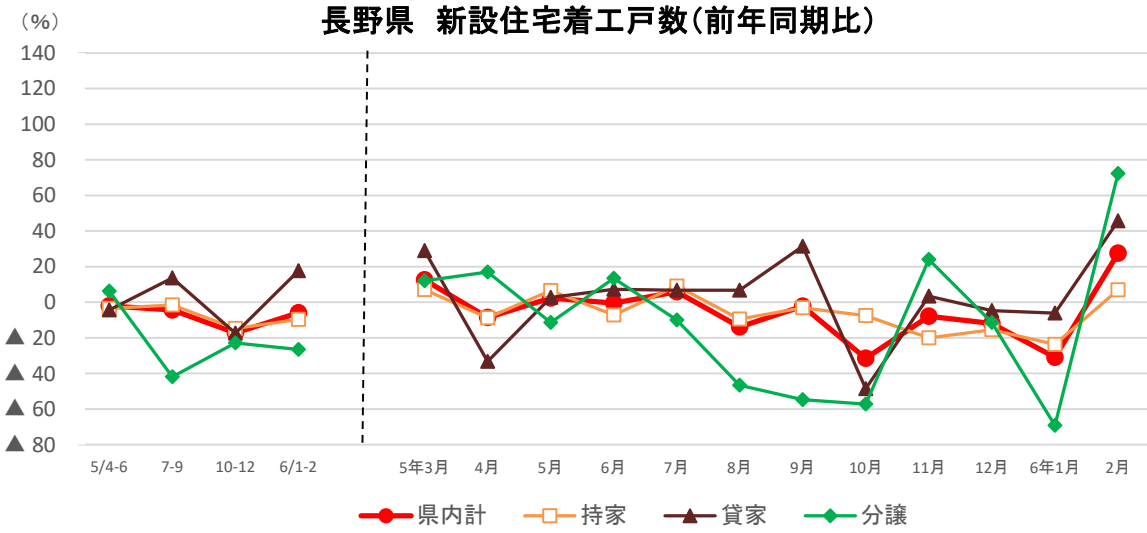
(注)()書は前回(5年10~12月期)調査結果

資料:長野財務事務所
「法人企業景気予測調査(令和6年1~3月期調査)」

6. 住宅建設

前年を下回っている

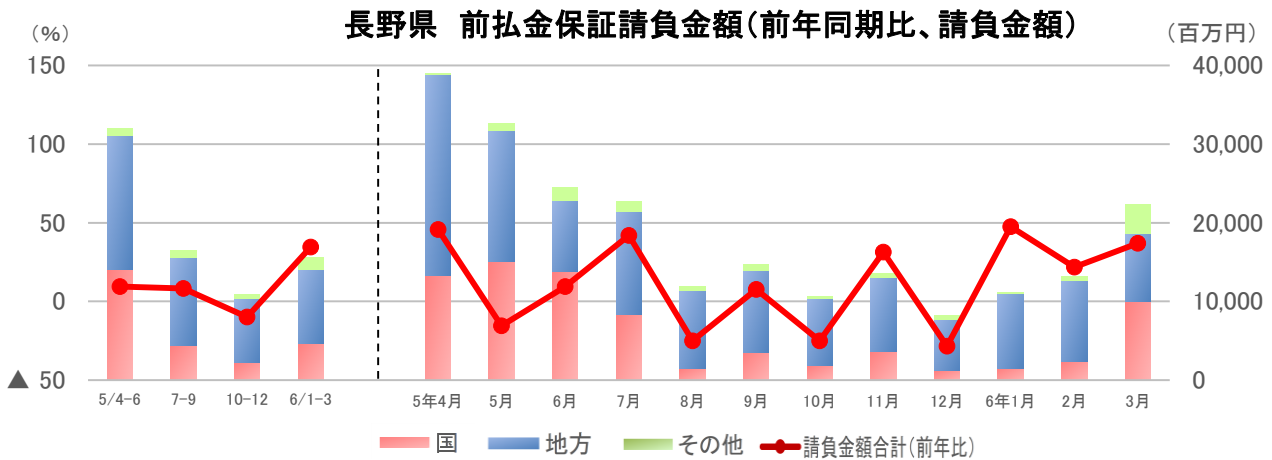
【図表9】



(参考) 公共工事

前年を上回っている

【図表10】



(参考) 倒産

前年を上回っている

【図表11】

